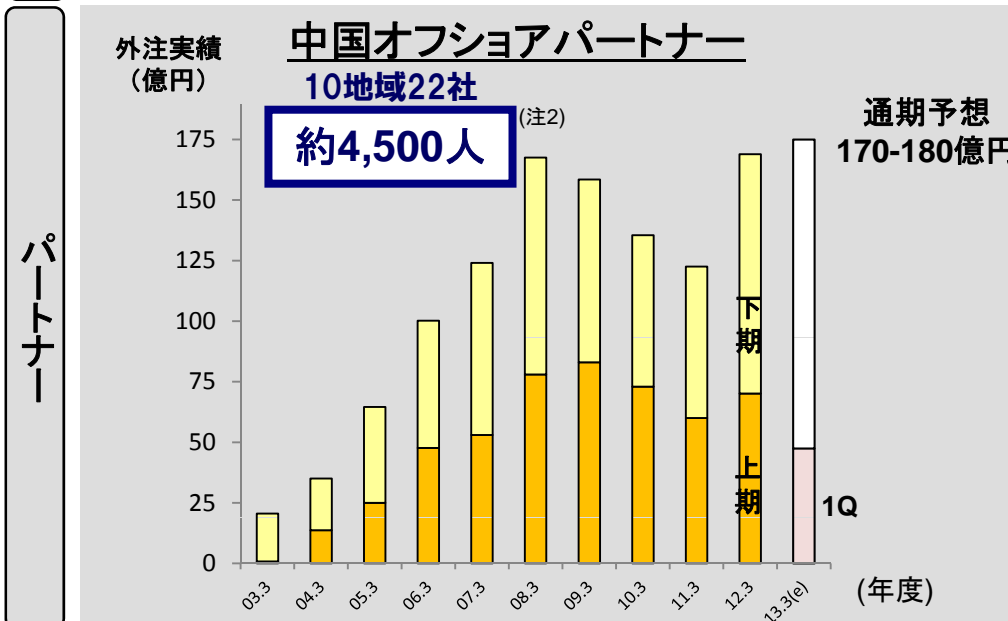
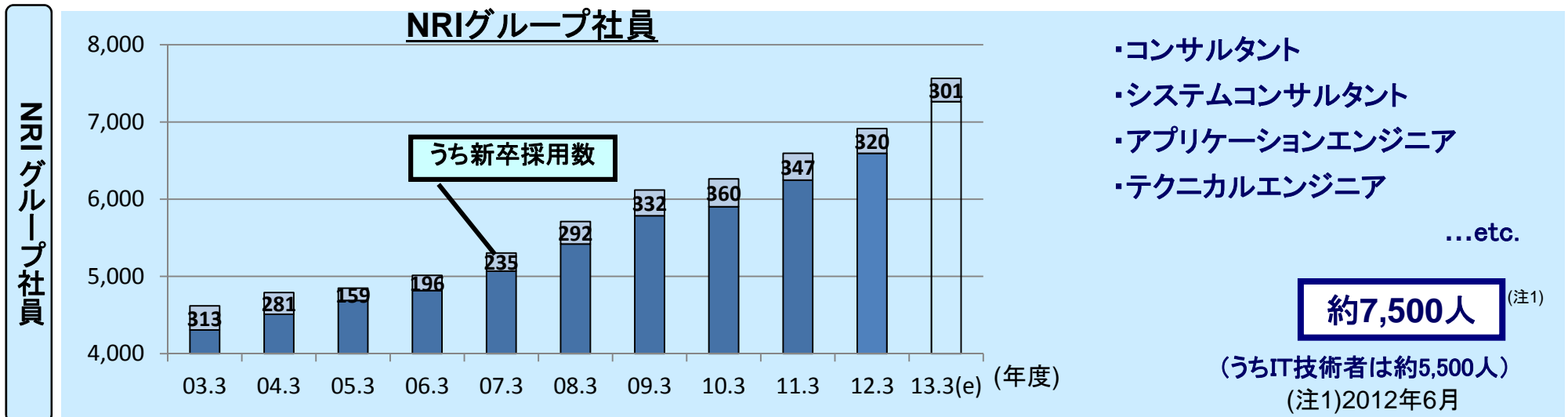


参考資料

1. その他業績関連資料
2. 最近の取り組み
3. プロジェクト事例
4. その他

1. その他業績関連資料

社員+国内・中国協力パートナー



2. 最近の取り組み

インドネシアに駐在員事務所

- インドネシア ジャカルタにNRI APAC ジャカルタ駐在員事務所を4月27日に開設
- インドネシア地域において、物流及び流通業界向けのコンサルティングや、ITソリューションサービスの展開を担う
- NRIグループでは、2011年からインドでのコンサルティング拠点の設立や、インドIT企業の子会社化などを進めてきた。さらに本年4月には、シンガポールの現地法人を増資・改称してNRI APACとし、アジア事業展開の中核拠点とするなど、アジアでの事業体制強化を進めている。ジャカルタ事務所の開設も、こうした取り組みの一環

2012年5月21日 日経産業新聞

2. 最近の取り組み

NRI未来ガレッジ

- 参画企業と共同で新しいサービスの創出を目指す新たな取り組みとして「NRI未来ガレッジ」を開設
- 「NRI未来ガレッジ」では、アイデアジェネレーションのためのワークショップや、技術的検討、試作および共同での実証実験を行い、参画企業の持つニーズやノウハウと、NRIのコンサルティング、調査研究成果、システム開発技術を掛け合わせる事により、単独企業では思いつかない発想を生み出すとともに、それをアイデアで終わらせず、実現へとつなげていくことを目指す
- 先行事例として、最新フロント技術活用とビッグデータ活用を重点テーマに、社会ニーズを模索しつつ新しい技術の活用方法を検討。2012年9月に「NRI未来ガレッジ」専用ルームを設置し、本年度中に10社以上の企業と新しいサービスの検討に取り組み、実証実験に進める事を目指す

2012年6月22日 日経産業新聞



2. 最近の取り組み

I-STARの全面刷新

- 「I-STARファミリー」において、保振決済リアル管理機能をもつ「I-STAR/CX(保振決済管理ソリューション)」および「I-STAR/MX(保振決済照合ソリューション)」の2つのソリューションに新たな機能を追加し、基盤を含めて全面的に刷新
 - 今回の刷新は、ほふりが2014年1月に開始する予定の国際標準化に向けたシステム変更にも対応するもの。グローバル標準であるISO20022の流れを受けて、機能面での追加にとどまらず、基盤面も刷新することでSTP化の促進をはかる
 - NRIでは、「I-STARファミリー」など共同利用型サービスにおいて、各種制度変更に迅速・的確に対応し、金融機関の負担軽減を推進
- * STP化: 金融業務において、人手を介さずに電子的に処理を行うこと

2012年5月25日 日経産業新聞

2. 最近の取り組み

SmartBridge Advance

- 資産運用会社向けフロント業務システムの導入提案を積極化していく。
- 「SmartBridge Advance」は国内の法制度などに柔軟に対応できるものの、対象資産が国内株式に限定されていた。12年度に入ってから対象資産を外国株式、為替、為替予約、短期資産に拡大
- 今後は、バックオフィスシステムの導入先に積極的に提案していき、年間10社程度の新規採用を目指す

資産運用会社向け フロントシステム強化

野村総研

外国株式や海外発注など

野村総合研究所は、資産運用会社向けのフロント業務システムの導入提案を積極化していく。国内株式だけだった対象資産を12年度から外国株式などにも拡大したほか、海外に直接発注できる機能を追加して利便性を大幅に向上。すでに大手国内資産運用会社2社が導入、さらに12年度上期中に4社が導入を決定する見込みだ。

同社は、06年から「Bridge Advance」は国内の法や取引注文管理（OM）制度などに柔軟に対応（S）機能を持った資産運用会社向けのフロント業務システム「SmartBridge Advance」の導入先は14社にとどまらず、12年度に入ってから対象資産を外国株式、為替、為替予約、短期資産に拡大。短期資産（7社）で採用実績があるが、「Smart」のT+2への決済期間

「短縮化」にも対応。また、海外ネットワークとの接続機能を追加し、国内の証券会社を bypass して現地のブローカーに直接発注できる機能も持たせた。

さらに、13年度上期中までに信用、先物、国内債券、外国債券まで対象資産を拡大し、「全ての資産に対応」（野村総研）できるようにする予定。

今後は、年間10社程度の新規採用を目指し、「バックオフィス」システムの導入先に積極的に採用を提案していきたい（同）

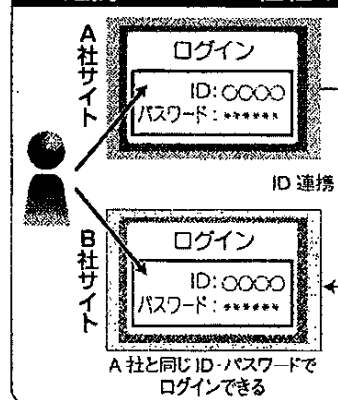
2012年5月25日 ニッキン

2. 最近の取り組み

Uni-ID

- 企業がウェブサイトで発行する顧客や社員のIDやパスワードを他社サイトのものと連携できる相互利用サービスを拡販する。ID連携の需要が企業内にもあると見て、経営統合した会社間や大手企業の子会社や海外拠点間など社内でのID連携を提案する
- ID連携サービス「Uni-ID」は2社のウェブサイトのID/パスワードを連携する仕組み。ある特定のサイトで取得したID・パスワードでもう一つ別のサイトも利用できるようになる
- ID連携の国際標準規格「オープンID」に準拠

NRIのID連携サービスの仕組み



野村総合研究所（NRI）は企業がウェブサイトで発行する顧客や社員のID（識別符号）やパスワードを、他社サイト、経営統合した会社間や大手企業の子会社や海外拠点間など社内でのID連携を提案する。標準形式の場合、約300万円、3カ月ほどで連携できる。ID連携サービス「ユニID」は今後、事業再編を進めている大手企業に提案を強化する。子会社化前の会社で取得したIDを新会社でも利用できる。子会社や海外拠点ごとに別々だったIDも連携できるため、グループの社員向けにも活用できる。

野村総合研究所（NRI）は、企業の子会社や海外拠点間など社内でのID連携を提案する。標準形式の場合、約300万円、3カ月ほどで連携できる。ID連携サービス「ユニID」は今後、事業再編を進めている大手企業に提案を強化する。子会社化前の会社で取得したIDを新会社でも利用できる。子会社や海外拠点ごとに別々だったIDも連携できるため、グループの社員向けにも活用できる。

同サービスは2社のウェブサイトのID・パスワードを連携する仕組み。ある特定のサイトで取得したID・パスワードでもう一つ別のサイトでも利用できるようになる。ID連携の国際標準規格「オープンID」に準拠しており、同規格を採用する世界中のサイトと連携できる。

野村総研

社内ID連携を支援

統合企業や海外拠点間

2012年6月25日 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

健康みらい予報

- 久山生活習慣病研究所との共同研究により開発した、生活習慣病指導支援システム「健康みらい予報」の機能を拡張した新バージョンを提供開始
- 同ソフトは個人の健康診断結果などを入力すると、過去のデータを基に今後10年間で発症する危険性を倍率で表示する
- 新たに「血糖値インジケータ」機能を搭載。心血管病の発症に対する危険因子である血糖値やコレステロール、中性脂肪などを今後低減していくことで、「心血管病の10年間の発症確率」、「同性同年齢とのリスク比較」、また「予測血管年齢」の改善度合いを、定量的に予測することができるようになる

2012年5月15日 日経産業新聞

3. プロジェクト事例



全国の大学生生活協同組合 様

大学生協ERPシステムの構築と運用
POS及びICカード決済システム構築と運用

(注)NRIネットコムによるサービス提供

4. その他 - コミュニケーション活動

セミナー等



2012年5月

ITロードマップセミナー Spring2012



2012年5月

「2012 Japan IT Week 春」に出典



2012年7月

「IT Japan 2012」で講演

出版物



2012年4月以降に
出版された本の例